



熱意

小美玉市立小川南中学校 学校だより
NO. 32 令和2年12月23日 発行

教育目標 これからの時代を切り拓く たくましい生徒の育成
キーワード 熱意と誠意 ～ 本気で 明るく 粘り強く ～

2学期を振り返って

1年1組 那須 さん

私が小川南中学校に転入して、3か月になりました。

前の学校に入学して約3か月間で沢山の友達を作ることができたのに、また新しい学校に行くことになって友達ができるか、どんなところなのか不安でしたが、クラスには親切な人が沢山いてすぐになれることができました。

小川南中学校は、前の学校と違って静かなクラスでびっくりしました。私はどちらかということにぎやかなクラスの方が好きだけど、南中には南中のよさがあるって勉強に集中できるし、落ち着いて生活できるのでよいと思いました。

2学期の反省として、「時間に余裕をもって生活したい」ということがあります。特に朝は生活班長として生活ノートを集めて提出しなければいけないのに、時間に間に合わず班の人に迷惑をかけることが何度かありました。3学期は、朝にバタバタとしないように、前日に学校の用意を終わらせようと思います。

また、給食の時間も40分に席につけないことがあったので、時間に気をつけて生活していきたいです。

そして、これからがんばりたいことは、「できないことをできないままにせず、できるようになるまであきらめずにチャレンジしていくこと」です。なぜかという、道徳ではやぶさの観測をした人たちの話を聞いて、色々なトラブルの中で、最後まであきらめずに成功させたことを知り、自分も何か挑戦したいと思ったからです。特にサッカーで技術をつけて試合で活躍できるようにになりたいです。



2年1組 寺澤 さん

今、2学期を振り返ってみると、長いようであっという間の2学期でした。

10月にあった、あしのめ祭で、私は合唱コンクール実行委員になりました。クラスをまとめるのが大変でした。でも、皆で金賞をとるためにアレンジなどを加え、楽しく合唱することができました。本番でも、練習の成果を出して金賞をとることができました。最初は全くまとまりがなかったのに、皆で力を合わせれば最強なんだなと思いました。行事を通して、友達と関わる時間や話す機会が増え、交流を深めることができました。でも、まだ学年の中でも話したことがない人がいるので、これからも積極的に声をかけて、さらに友達をつくりたいです。

学習面では、苦手な教科をそのままにして、得意教科との差が大きくなったり、集中力がすぐ切れたりして、満足した点数がとれませんでした。だから、3学期では、特に苦手な国語と社会を沢山勉強して克服したいと思います。

クラブ活動のサッカーでは、全国大会に出場

するために、日々頑張ってきました。県大会では、思うようなプレーが出来ず、自分に自信がもてませんでした。また、ディフェンスという慣れないポジションで、抜かれたらゴールを決められてしまうという責任を強く感じてプレーをしました。しかし、スタメンで出させてもらっている以上、自分にムチを打ち、厳しい練習を乗り越えてきました。そして、関東大会では、1秒たりとも気を抜かずに、戦うことが出来ました。結果は全国大会には出場できなかったけれど、こんなにも勝ちたいと思える試合が出来てよかったです。そして来年こそは、全国大会出場を果たしたいです。そのために、日々トレーニングを頑張っていこうと思います。



3年3組 萩原 さん

僕は3年生になるにあたって、「自立した南中生になる」ことを目標にしました。その達成のために2学期に意識して取り組んだことを3つ話します。

初めに、「当たり前前を当たり前に行う」ということです。例えば、毎日の提出物や黙勤清掃、先生への挨拶等、最高学年として当たり前前ができるように意識しました。今年は体育祭などがなく、後輩に直接関わって南中生としての伝統や姿を見せることができませんでした。その分、普段の生活の中で先輩としてのあるべき姿を見せたいです。

続いて2つ目は、「何事も諦めない」ということです。あしのめ祭の合唱コンクールでは、本番の直前まで改善すべき所を練習して今まで以上のベストな合唱ができるようにしたり、スポーツフェスでは、試合終了直前まで諦めずにボールを追いかけていました。僕たち3年3組は常に「楽しむこと」を目標に、笑顔で最後までやり切ることができました。

そして3つ目は、「自分の殻を破る」ことです。僕は少し内気な面があり、3年生になっても、2年間クラスが一緒だった友達や部活内のメンバーなどとは親しく話せませんでした。しかし、悔いなく中学校生活を終わりたいという思いから、2学期の席替えの時、思い切って自ら周りに話しかけてみました。今ではその友達を含め、クラスのみんと話せるようになりました。自分の殻を破り、行事を通してクラスの絆を深められたことが2学期で一番の成果だと思っています。

また、後期初めて学級委員に立候補しました。前期学級委員の堂々とした姿にあこがれたので、自分自身も堂々と自分の意見を述べられるようになりたいです。以上が「自立した南中生」になるために自分なりに意識できたことです。しかし、受験に臨む姿勢や学級委員としての働きにまだ課題もありです。先生方に言われて気づくことも多いので、3年生としてふさわしい態度や行動について自分たちで判断できるように気を引き締めたいです。そして、3年生全員が笑顔で卒業できるようにしたいです。